

2019.8.27

第19回 副首都推進本部会議

資料3

堺市提案資料

- ・大阪府・大阪市との強固な連携による観光戦略の構築に向けて
- ・堺ベイエリアの活性化に向けて

堺市長 永藤 英機

大阪府・大阪市との強固な連携による観光戦略の構築に向けて

基本的な方針

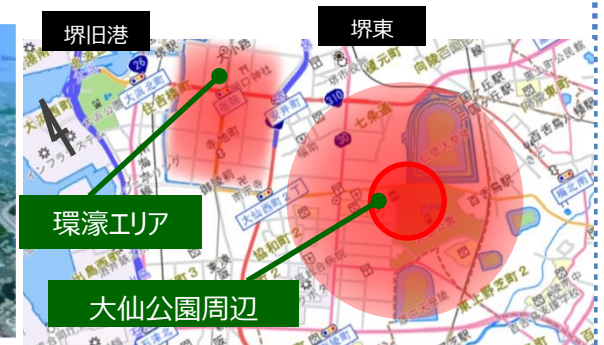
- 1600年の歴史が息づく堺の魅力を活かし「**国際観光拠点・大阪**」の実現に貢献する
- 歴史的な資産が凝縮された関西において、各都市が連携し、**関西全域の成長**を図る

大阪全体の観光魅力増により、関西のさらなる発展へ

取組の方向性①

- **百舌鳥古墳群をはじめとした堺の歴史的資産を活かし、大阪の魅力をさらに深化**
- **歴史的ストーリーを活かして、活況を呈する大阪市内のインバウンド観光客の府内周遊を促進**

- ▶ 大仙公園で民間による**ガス気球遊覧を実施**し、ユネスコ世界遺産委員会が評価した『**都市部に残る古代遺産**』を一望
- ▶ パークマネジメントなど民間の力を活用して、**大仙公園周辺に来訪者や市民が集い・楽しみ・賑わう交流拠点を創出し**、
関西の世界遺産を繋ぐ一大スポットとして、**堺の中心市街地やベイエリアへ効果を波及**
- ▶ 「百舌鳥古墳群と古市古墳群、その他の古墳巡り」や「千利休と豊臣秀吉」などのストーリーを活用した府内**広域周遊商品の開発**



大阪府・大阪市との強固な連携による観光戦略の構築に向けて

取組の方向性②

- 世界に誇る日本文化である「茶の湯」や「食」、そして伝統に裏付けられた堺の魅力をさらに高め、ブランディングを行うとともに、国内外に発信する
- 増加するインバウンドを、泉州・南河内地域へ誘引し、南大阪の発展につなげる
- 関西全域で世界遺産や伝統文化、スポーツ等の資源を活用した観光誘客を推進する

- ▶ 茶の湯文化に気軽に触れられるまちづくり、刃物・線香・和菓子など和体験型観光（コト消費）の推進
- ▶ 日本のゲートウェイである泉州地域をはじめ、南大阪の自治体やDMOとの連携により、フードツーリズムやサイクリング等のスポーツツーリズムの推進

ex) 街の至る場所での呈茶体験、千利休生誕500年（2022年）を記念したイベントの開催
刃物をはじめ堺の伝統を体験できるツアーの造成 など

堺市

- 大阪観光局の事業に参画し
- ブランディングの強化
 - 発信力の強化

- ★百舌鳥古墳群と古市古墳群等の周遊強化
- ★関空イン関空アウトのインバウンド観光客向けコンテンツの強化

**国内外の観光客を
泉州・南河内をはじめ大阪各地へ！
大阪・関西のさらなる発展へ！**

堺ベイエリアの活性化に向けて

基本的な考え方

○2025大阪・関西万博の開催や、IR誘致等を見据え、大阪府・市と連携し、**ベイエリアの賑わいの創出と産業活性化を図る**

堺のベイエリアは、大阪都心部と関空を結ぶ交通軸に位置。神戸・奈良とも交通利便性が高く、関西一円を結ぶ広域的なアクセスの中心

ベイエリアを堺の玄関口とし、グローバルな人流・物流の一層の活性化を推進

▶大阪湾や瀬戸内海との結節性を生かし、海上アクセスルート（関空～堺～夢洲・舞洲）の構築、クルーズ・遊覧船などの誘致

▶大阪湾の物流機能の強化等により、産業の発展、経済のパイの拡大

**大阪湾全体の環流を生み出し
大阪・関西のさらなる発展**



堺ベイエリアの活性化に向けて

取組の方向性

■ 多くの人をひきつける活力ある交流拠点

- ▶ 関空、夢洲などとの海上交通の利便性の高さを生かしたホテル誘致、堺駅周辺の開発
- ▶ 堺旧港・堺浜を拠点に、世界文化遺産や環濠エリアなど、堺の豊かな歴史文化資源と連携した周遊
- ▶ 美しい景観や水辺空間を生かした堺のシンボルとなるウォーターフロント
遊覧船、ナイトクルーズ等の運航、カフェ・レストランの誘致
- ▶ ビーチを活用したスポーツ・アクティビティの拠点化
- ▶ 南大阪地域との連携による賑わい効果の拡大



■ 大阪湾の物流機能を生かした産業・経済の発展

- ▶ 結節性・交通利便性の高い大阪湾の機能を十分活かし、全国的にも有数な堺のエネルギー産業や、製造業などの域内投資や企業立地、新事業創出等を一層進め、大阪・関西の経済活性化に寄与する。
 - ・ エネルギー拠点 堺泉北港は関西のエネルギー（石油・LNG）の65%を輸入
 - ・ 製造業 製造品出荷額等全国8位、一人当たり製造品出荷額等政令市中1位（H29）
 - ・ 物流拠点 堺浜周辺に物流施設（10施設・5,000~40,000坪）の集積
- ※大阪府・堺市の投資・立地、新事業創出関連施策との相乗効果

